

第2回東大本番レベル模試 国語 解答例

第一問

(一)

眠りと休息で演技的世界から逃れながらも、それは同時に自分に意味を与える他者の欠如であり、あるがままの自分を肯定する価値を眠りと休息からは見出せないから。

(三)

他者からの評価を「あるがまま」の自分と一致した肯定的なものとして受容できる保証はなく、かえって他者の評価通りに演技しなければならない場合もあるから。

(五)

差異的文化価値の中で人々は演じない自分を実感しようと本当の自分を肯定する親密な安定した他者を求める。しかし互いの認識のずれや差異的文化価値によりそれは困難であり、その自己追求の失敗は現代の文化的支配構造に問題があるから。

## 第二問

(二)

花紅葉の華やかさを理解することによって古屋の簡素静寂さを理解できるといふこと。

(四)

なにもない所から自然と心を動かすようにぼつぼつと草が表れる点。

(五)

一つの道を極める事が、関係ないようで仏の道につながっておりすばらしい

### 第三問

(二)

隠者としてひっそりと貧しく暮らす者は人との交わりが少なく、老いて家で死ぬので、仮に優れた技量があっても世に知られることがないから。

(五)

無位無官の民間人が貴族や官僚を書画の評判で圧倒するという世の中お変化が起きたこと。

#### 第四問

##### (二)

子供には際限なく問いをたてる「移り気情念」もあるが、次の問いを考えるより前に、自分で問題を創造生産し専念する力としての「欲望」がありその問の有用性を考えず問いに没頭できるから。

##### (三)

現代的な「父」は子供が持つような身体や要求における無限を不可能なものとして放棄し知性によって理解することができないため本来有限を教えるはずの存在なのに無限の要求を持ちつづけていること。